

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎中央

東京ITプログラミング&会計専門学校名古屋校

学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和4年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和5年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

宇野 旭 氏 小原会計事務所 卒業生
 木村 泰輔 氏 有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部
 中京リスクアドバイザー
 野村 健典 氏 MAC&BP ミッドランド税理士法人 経営支援部
 平野 江里 氏 株式会社日本旅行 名古屋法人営業支店 営業2課

<事務局>

金子 徹 校長
 麻生 敏明 教務部課長
 吉田 行雄 教務部課長
 水落 克己 教務部課長
 田村 勉 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか 教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、人格の陶冶と簿記、会計、情報処理及びビジネスに関する正しい知識を身につけ、日本経済の発展に貢献出来る人材の育成を目的としている。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か 公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験、旅行業務取扱管理者試験などの国家試験や日本商工会議所簿記検定などの資格試験の合格者を輩出しており、民間企業就職率も高い実績をあげている。これらは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが大きい。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材、特色将来構想などが学生、保護者等に周知されているか</p>

	<p>学園の基本目標として、『学生から信頼され支持される学校づくり』を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>これら、理念、「ゼミ学習」による授業運営及び基本目標については教職員に周知徹底し、学生、保護者等にも周知に努め、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。なお、今年度におけるゼミ学習については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に講じて実施している。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>「ゼミ学習」により、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、民間企業就職実績が両立している。また、育成人材が業界ニーズに向けられるように、例年開催している学内就職セミナーや教育課程編成委員会を通じて業界の方々の意見を取り入れてカリキュラム編成を行い、見直しを行っている。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 違和感はない。IT業界にとって必要なニーズに合ったカリキュラムになっている。</p> <p>(2) 教育理念がホームページでは見当たらない。外部の方は「学生から信頼され支持される学園づくり」であることを知らない。</p> <p>(3) ゼミ学習において、自分の意見を人に言える機会があるのは良いこと。</p> <p>(4) 一人での勉強は難しい。みんなで助け合いながらの勉強は今後も継続してほしい。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、理事長からも繰り返し教職員に伝えられている。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営組織や意思決定機能は運営組織図に従い運営しており、各部署の役割と権限、人的体制を整えている。各部署では目標達成のために数値目標を明確にしており、その目標達成のために授業を組織的に運営している。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度は、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されているが、学校運営に必要な人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会を令和元年度より立ち上げ、今後も改善を行っていく予定である。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は管理職がおこない、学校間の調整は学園本部また部次長会</p>

	<p>議で行っている。理事会、評議員会、校長会、部次長会議、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p>ホ. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか 新型コロナに伴う休校等の判断も愛知県の実情に従って遵守している。</p> <p>ヘ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか 教育活動に関する情報公開については、資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開している。その際、信憑性を確保するために本人の了承を得て合格者情報にイニシャル・出身校名を載せている。</p> <p>ト. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか 情報システムによる業務の効率化のため、学務システム（入試システム、学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。また、就職部は求人情報をデータベース化している。学務システム（入試システム、学籍管理システム）は仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) ロについて、実際のところ運用がされていないのはどこの組織でもあることなので明確なのは安心できる。</p> <p>(2) トについて、学生の個人情報のセキュリティは今後も継続してもらいたい。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか カリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れて、知識の習得を確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も涵養している。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 各学科の目標を明確にし、例年、企業の人事担当者を招いて行う学内就職セミナーで、企業から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。</p> <p>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか 各学科等のカリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p>

ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置している。

ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施し、授業運営の改善を図っている。

へ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

成績評価・単位認定の基準は明確に定め、学則、専門課程便覧等で学生にも周知徹底し、厳正に行っている。また、令和元年度よりGPAを算定するため、システムを改修し導入しており、GPAの算定についてホームページ上でも公開している。

ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。令和4年度はコロナ禍においても、対面授業、分散登校、そしてオンライン授業により全ての授業を実施することができた。また、オンライン授業についてはMicrosoft365およびZoomを利用している。

チ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。

リ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか

近年はコロナの影響でままならない部分もあったが、外部企業等と連携して研修を実施していく予定である。

この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。

- (1) 学生への接し方について、メンタルが弱い学生もいるので学生ごとに対応を変えていくことが今後さらに求められると思う。
- (2) へについて、成績評価の基準については学生が納得できるようにするため、普段から信頼関係を築いておくことが大切。GPAがホームページ上で探せなかった。

	<p>(3) チについて、他の学校との大きな違いは担任制であり科目ごとの担当制ではないこと。そのため、担任の負担が大きくリスクを伴う場合もあると思う。担任育成が大変だと思うが今後どう育成し、どう確保していくのか短期的及び長期的な面から考える必要があると思う。</p> <p>(4) リについて、通常業務（授業運営）プラスαで大変ではあるが、引き続きスキルアップを目指してもらいたい。</p>
<p>基準 4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>各学生が習得した専門知識を活かせる希望職種や希望企業への就職を果たすため、学生、クラス担任及び就職指導担当職員と連携して就職活動に取り組んだ成果が就職実績に表れている。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>独自の教育システムである「ゼミ学習」による授業運営により、国家試験等の各種資格試験において高い合格実績をあげることができている。</p> <p><情報管理学科、ITビジネス学科の資格取得実績や就職実績の紹介></p> <p>【委員による意見】</p> <p>IT系以外の業種でもPG・SEが求められている。就職先としてIT系以外の業種に就職し、そこでPG・SEとして働くのは良い傾向。</p> <p><会計学科 資格取得実績や就職実績の紹介></p> <p>【委員による意見】</p> <p>(1) 働きながら勉強するのは大変である。税理士試験においては簿記論と財務諸表論の合格率の高さもさることながらプラス税法科目に合格できているのは頼もしい。</p> <p>(2) 資格試験を目指す時に勉強する学校を探すポイントは合格者数なので、アピールできる実績は必要だと思う（委員の方は社会保険労務士の取得資格を考えているため、つくづく感じるとのこと）。</p> <p><ビジネス学科 資格取得実績や就職実績の紹介></p> <p>【委員による意見】</p> <p>資格取得実績について、総合旅行業務取扱管理者試験は旅行会社の中でも取得者は少ない。一部免除規定もあり合格しやすくなっているがそれでもなかなか合格しない中、鉄道業界を目指す学生でも合格できるのは学生の意欲の大きさが感じられる。自分の会社の人間にも伝えたい。</p> <p>就職実績について、会社によっては地元の学生以外の採用は無いといわれる企業に内定できているのはすごいことだと思う。今後もそのような企業にも積極的にチャレンジしてほしい。</p>

	<p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>一人も退学者を出さず入学した学生全員を卒業させることが目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、学生に積極的に声をかけ、その状況を日常コミュニケーションチェック表に記録するなどして退学率の低減を図っている。無断欠席者には担任が電話することで長期の欠席にならないようにしている。また、学生相談室を設置しており、担任以外にも相談できるようにしている。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>【委員による意見】</p> <p>(1) 退学者がコロナとの関係があるのかわからないが、今後は精神的に弱い（メンタルの弱い）学生が増えていくと思われるので、状況に応じた接し方や対応が求められると思う。</p> <p>(2) 退学者を出さないということを意識することにより、担任をはじめ職員が弱気になる（就職実績や合格実績の確保のためにやるべきことをできなくなる）可能性があるため、このバランスをどうとっていくかが今後さらに求められる。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>就職希望者には、就職相談室を設け、就職指導担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、企業研究、筆記試験対策、面接対策などの指導を行っており、近年はオンラインによる面接指導も実施した。また、例年、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生の様々な悩みを解決していくため、それらの相談はまずクラス担任が受けるが、担任に話せない事柄もあり、その時は学生相談室を設けているので、学生が相談室の担当者に直接相談できる体制を整えている。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>経済的側面に対する支援のため、特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けている。また、令和2年度よりスタートした高等教育無償化の修学支援対象校として文部科学省より確認されている。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学生の健康管理のため、学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施しており、指定病院が学生の健康相談などに応じている。新型コロナウイルス感染症対策として、校舎入口での検温および手指消毒、授業前の体調チェックシート記入、授業後の机イス、出入口の扉の取っ手、トイレ、エレベーターのボタンなど人が触れる箇所の消毒、また教室内やロビーの座席等は、ソーシャルディスタンスを保つようにしている。</p>

	<p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>課外活動として、クラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動があり、それらは学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主だった活動はできなかったが、令和4年度から感染対策を十分にいき、課外活動を行っている。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のための学生寮など学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>保護者には、学生に対して適切な指導、相談を行うため、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付しており、必要に応じて保護者と面談を行っている。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</p> <p>「高校生の就職を応援します」と銘打ち、無料で高校生の民間就職支援、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、例年多くの高校生が参加していたが、近年はコロナの影響もあり、例年より参加者数は減少している。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学生時代コロナ禍における朝の校舎入り口での検温において、健康チェックプラスαとしてコミュニケーションが取れたのも良かった。</p> <p>(2) 旅行会社として本学のゼミ旅行を担当した際に、職員がコロナを意識していることの高さと行動には驚いた。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っている。また、令和2年度に本館、別館共にWi-Fi環境を整備したため、施設・設備は学生に教育上支障がないように整備している。</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p>

	<p>(1) 最近、地震が増えている。高い階の教室ほど災害時の対処や避難経路など職員も学生も意識する必要があると思う。</p> <p>(2) 危機管理について、サイバー攻撃で狙われない業界は無い。むしろ学生の個人情報があるので狙われやすいことも考えられる。学校名に「IT」が入っているにもかかわらずサイバー攻撃されたりセキュリティが弱いのは致命傷にもなりかねないのでさらなる強化が必要。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>各種資格試験においては、信憑性を確保するために本人の了承を得て合格者情報にイニシャル・出身校名を載せて載せており、志望者や保護者の方の判断にも役立つと考えている。本学のホームページは、スマートフォンへの対応も行っているため、スムーズに情報が入手でき、LINE、Twitter、Facebook、YouTube、Instagramを利用した情報提供も行っている。オンラインによるオープンキャンパスや進路個別相談会を行っており、オープンキャンパスはYouTubeでも行っている。</p> <p>新入生に対して入学後行うアンケート結果では、卒業生の教育成果が進路を決定する上で参考になったとの回答を得ている。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) いろいろな冒険をせずに健全を心がけているのは、親としても安心して通わせられると思っているのではと思う。</p> <p>(2) テレビCMをやめ、さまざまなSNSを利用し若い人の目につきやすいもので情報提供を行っていることは時代に合っていると思う（若者の情報収集はSNS）。</p> <p>(3) ホームページなどで、内定者や合格者の写真やコメント、イニシャル・出身高校名が分かるのは、本学に興味や憧れを持つと思う。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>財務全般について少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要があり、予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定めている。予算の編成は適切に手続きを経た上で確定し、予算を執行している。</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。</p>

	<p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 物価高に伴い学費値上げのタイミングをどうするのか、または、現状の安い学費を維持していくにはどうするのが今後の課題ではないかと思う。</p> <p>(2) 資格による特待生制度などはハードルが低く入学しやすいと思う（もう少しハードルを高くしてもいいのではないかと思う）。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>職員には毎年愛知県県民生活部県民総務課人権推進室より講師を招いて人権研修を実施し、受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に参加させ、その結果を受けて資料を全職員に配布している。法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し施行している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>個人情報の取り扱いに関し、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、個人情報保護に関する内容を文書化している。学生の個人情報については、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 定期的にも人権研修を行うのは良い。</p> <p>(2) 個人情報に関するセキュリティは入学を考える人が気にするところである。また、セキュリティを外部に委託する場合、委託業者から漏れることもあるので、この管理体制も今後考える必要があるのではないかと思う</p> <p>(3) 合格実績や就職実績の掲載に際し、承諾を得ることで嘘ではないことも証明できている。</p>

<p>基準 10 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ロ. 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>社会貢献・地域貢献全般については、以前は学生のボランティア活動を奨励し、支援しており、学生は近隣の道路清掃をしていたが、近年はコロナの影響により実施していない。今後は状況に応じて実施していく方向で考えたい。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 館外清掃などは積極的に行うことで地域住民との良好な関係を築いてほしい。 (2) 高校生対象のセミナーや高校への講師派遣は教育機関としての社会貢献もさることながら、本学を知ってもらい入学にも結びつくので続けるべきである。</p>
-----------------------------	--

〔総括的な意見〕

各評価項目の評価は「妥当」であると感じた。

コロナ禍において、ゼミ学習を復活させ例年通り又は例年以上の合格実績、就職実績をあげている点については、各職員の方々の努力の賜物であり、学生から信頼されていることの何よりの証だと思う。今年度は、コロナが5類に移行したとはいえまったく無視できるような状態ではなく、そのような状況の中職員の方は気苦労もあり大変だとは思いますが、立志舎の一番の強みであるゼミ学習を中心に、ぜひ学生の夢を叶えることに尽力してほしい。